

# 漢字音の促音化について

加納 千恵子

## 要 旨

漢字圏の外国人日本語学習者は、漢字音の読みにおいて、清音・濁音の区別や母音の長短、促音の有無などに間違いが多く、またそのような間違いは中上級に進んでも残りがちであることが指摘されている。本論文では、その中でも特に学習者からの質問が多い漢字音の促音化の問題に焦点を絞り、どのような場合に促音化が起こるのかを整理する。そして、このような漢字圏学習者の弱点を克服させるためには、どのような漢字の教授法が効果的かについても検討する。

【キーワード】 漢字圏学習者 漢字音 促音化 教授法

## A Study of Kanji Compounds with Doubling of Consonants

Kano, Chieko

Students from kanji background countries tend to retain certain errors such as the distinction between voiceless and voiced consonants, long and short vowels, single and double consonants, etc. in the ON readings of kanji. Kanji that can cause doubling of consonants are taken up particularly for discussion in this paper and the author tries to explain when doubling of consonants occurs. The author also examines ways of teaching such kanji for the students of kanji background.

## 1. はじめに

漢字圏の日本語学習者は、母語における漢字や漢語の知識を既知しているため、非漢字圏の学習者に比べると、格段に有利な立場にあると言われる。しかし、母語における知識を過信すると、日本語における漢字の読みや漢字語彙の用法とのずれや違いに気づかず、不正確な読みや作文での不適当な漢字語彙の使用が定着してしまう危険性も大きい。特に中級レベルの漢字圏学習者に特徴的に見られる読みの間違いとしては、字音語における清音・濁音の区別、短音・長音の区別、拗音の区別、促音の有無などが指摘されている。加納(1993, 1994a, b)では、複数の音読みに清濁の対照が見られる漢字を取り上げ、その読み分けのルール化を試みたが、本稿では、学習者からの質問の多い字音語における促音の有無の問題を取り上げて、どのような場合に促音化が起こるのかを整理し、効果的に指導するにはどうしたらよいかについて考える。

## 2. 字音語の音変化のきまり

日本語の漢字の字音は、それが2音から成る場合には、その2拍目の音が「-イ、-ウ、-キ、-ク、-チ、-ツ、-ン」のいずれかであるということが知られている。国立国語研究所(1988)では、字音語における割合規則的な音変化のきまりとして、次のような説明がされている<sup>(1)</sup>。

前部構成要素の字音が「ジュウ」か、あるいは、その第2拍の音が「~キ、~ク、~チ、~ツ、~ン」であり、後部構成要素の字音が「K、S、T、H」の場合<sup>(2)</sup>に、前部第2拍音が促音化したり、後部頭子音が有声化したりする傾向が見られるのである。

このうち、第2拍の音が「~ン」の場合というのは、後部頭子音の有声化に関わるきまりであるから、促音化に関するきまりは、前部構成要素の字音が「ジュウ」の場合と、第2拍の音が「~キ、~ク、~チ、~ツ」である場合ということになる。

しかし、国立国語研究所(1988)によれば、現代語音で「ジュウ」と発音される漢字のうちで促音化するのは「十」だけであるので、これは特殊例として後で扱うことにしたい。

第2拍の音が「~キ、~ク、~チ、~ツ」である場合について考えてみると、下の例からもわかるように、促音化は、同じ条件の全ての漢字について同様に起こるわけではない。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| (1) 「~キ」の類の漢字 | 「石」セキ： ○~K 石器(セッキ)  |
|               | 「的」テキ： ×~K 的確(テキカク) |
| (2) 「~ク」の類の漢字 | 「学」ガク： ○~K 学校(ガッコウ) |
|               | 「六」ロク： ○~K 六回(ロッカイ) |
|               | ○~H 六杯(ロッパイ)        |
|               | 「角」カク： ×~K 角界(カクカイ) |
| (3) 「~チ」の類の漢字 | 「日」ニチ： ○~K 日課(ニッカ)  |

	○～S	日食 (ニッショク)
	○～T	日程 (ニッテイ)
	○～H	日本 (ニッポン)
「七」シチ：	×～K	七回 (シチカイ)
	×～S	七歳 (シチサイ)
	×～T	七頭 (シチトウ)
	×～H	七本 (シチホン)
(4) 「～ツ」の類の漢字	「鉄」テツ：	○～K 鉄橋 (テッキョウ)
		○～S 鉄線 (テッセン)
		○～T 鉄塔 (テットウ)
		○～H 鉄板 (テッパン)
	「割」カツ：	○～K 割拠 (カッキョ)
		○～H 割腹 (カッブク)
	「察」サツ：	○～T 察知 (サッチ)
	「質」シツ：	○～S 質素 (シツソ)

第2拍の音が「～キ」類の漢字では、熟語を作る際の後部構成要素の字音が「K」で始まる場合、「石」のように促音化するものと、「的」のようにしないものがある。第2拍の音が「～ク」類の漢字では、「学」のように「K」の前で促音化するものと、「六」のように「K」と「H」両方の前で促音化するものと、「角」のように促音化しないものがある。また、第2拍の音が「～チ」と「～ツ」の類の漢字では、「日」や「鉄」のように「K、S、T、H」全ての前で促音化するものと、「七」のように全くしないものがあり、さらに「察」や「質」のように促音化が起こる環境が異なるものも見られる。

そこで次節では、第2拍の音が「～キ、～ク、～チ、～ツ」である漢字に起こる促音化の現象を整理し、外国人学習者にどのように効果的に指導したらよいかについても検討してみたい。

### 3. 字音語に見られる促音化の現象

常用漢字表からそれぞれの類に属する漢字を取り出してみると、次のようになる。

- |     |                 |      |
|-----|-----------------|------|
| (1) | 2拍目の音が「～キ」の類の漢字 | 35字  |
| (2) | 2拍目の音が「～ク」の類の漢字 | 176字 |
| (3) | 2拍目の音が「～チ」の類の漢字 | 6字   |
| (4) | 2拍目の音が「～ツ」の類の漢字 | 100字 |

---

合 計 317字

### 3.1 前部構成要素の第2拍音が「～キ」の類

前部構成要素の第2拍音が「～キ」の漢字は次の35字である。

イキ	1字	域
エキ	5字	易疫益液駅
ゲキ	3字	劇撃激
シキ	2字	式識
セキ	14字	夕斥石赤昔析隻席借資跡積績籍
テキ	6字	的笛摘滴適敵
ヘキ	2字	壁癖
レキ	2字	歴歴

この類の漢字には、「石」「識」「斥」「赤」「積」のように、後部の子音が「K」の場合に促音化する用例<sup>(3)</sup>を持つものがある。

石	○～K :	石火	セッカ	石灰	セッカイ	石棺	セッカシ
		石器	セッキ	石窟	セックツ	石鱧	セッケン
		石膏	セッコウ	石工	セッコウ	石刻	セッコク
	X～S :	石室	セキシツ				
	X～T :	石炭	セキタン	石竹	セキチク	石塔	セキトウ
	X～H :	石碑	セキヒ	石筆	セキヒツ	石斧	セキフ

識 ○～K : 識見 シッケン

斥 ○～K : 斥候 セッコウ

赤 ○～K : 赤口 シャッコウ      赤光 シャッコウ  
赤血球 セッケッキユウ

積 ○～K : 積樹 セッキョク

「石」については、後ろに「K」音で始まる漢字が来ると促音化する、というルールが成り立つが、「識」「斥」「赤」「積」の場合は、促音化する例が上に示したように非常に限定されていることから、促音化のルールというよりは特殊例として扱ったほうが学習者のために覚えやすいのではな

いかと思われる。中でも、外国人学習者にとって使用頻度が高いと思われる語は、「石灰(セツカイ)」「石器(セツキ)」「石鹼(セツケン)」「石膏(セツコウ)」「赤血球(セツケツキユウ)」「積極的(セツキョクテキ)」ぐらいであるから、それらを特殊例として教えることも考えられる。

「疫」「益」「液」「劇」などは、後ろに「K」音で始まる漢字が来ても、促音化しない。

疫	×～K	疫鬼	エキキ		
益	×～K	益金	エキキン		
液	×～K	液化	エキカ		
劇	×～K	劇化	ゲキカ	劇界	ゲキカイ
激	×～K	激化	ゲキカ		
隻	×～K	隻脚	セキキヤク	隻句	セキク
的	×～K	的確	テキカク		
摘	×～K	摘記	テキキ		
滴	×～K	滴下	テキカ		
適	×～K	適確	テキカク	適期	テキキ
壁	×～K	壁間	ヘキカン		

また、「域」「撃」「式」「席」「跡」「績」「籍」「笛」「癖」などは、後部構成要素となって熟語を作ることが多く<sup>(4)</sup>、前部構成要素となることがほとんどないため、促音化の用例が見られない。「易」「馭」「夕」「昔」「析」「惜」「資」「敵」「曆」「歴」なども、後ろに「K」音で始まる漢字が来る用例がない。

そこで、前部構成要素の第2拍音が「～キ」類の漢字35字の促音化についてまとめると、[表1]のようになる。

[表1] 前部構成要素の第2拍音が「～キ」類の促音化

後部子音	K	S	T	H
域易疫益液馭劇撃激式 夕昔析隻席惜資跡績籍 的笛摘滴適敵壁癖曆歴 (30字)	×	×	×	×
識斥赤積 (4字)	△	×	×	×
石 (1字)	○	×	×	×

\*表中の○は促音化、×は促音化の用例がない、△は限られた用例のみ、ということを示す。

### 3.2 前部構成要素の第2拍音が「〜ク」の類

前部構成要素の第2拍音が「〜ク」の漢字は次の176字である。

アク	2字	悪握
イク	1字	育
オク	3字	屋億憶
カク	17字	各角楛画革格核設郭覚較隔闇確獲嚇穫
ガク	4字	学岳楽額
キク	1字	菊
キヤク	3字	却客脚
ギヤク	2字	逆虐
キョク	3字	曲局極
ギョク	1字	玉
コク	7字	克谷刻国黒穀酷
ゴク	1字	獄
サク	8字	作割昨索策酢搾錯
ジク	1字	軸
シャク	6字	勺尺借酌鞅爵
ジャク	3字	若弱寂
シュク	6字	叔祝宿淑肃缩
ジュク	2字	熟熟
ショク	9字	色食植殖飾触觸織職
ジョク	1字	辱
ソク	9字	即東足促則息速餽漚
ゾク	5字	俗族属賊統
タク	7字	宅沢沢卓拓託濯
ダク	2字	諾濁
チク	5字	竹畜逐蓄築
チャク	2字	着嫡
チョク	1字	直
トク	6字	匿特得督德篤
ドク	3字	毒独読
ニク	1字	肉
ハク	7字	白伯拍泊舶博薄

バク	5字	麥幕漠縛燻
ヒャク	1字	百
フク	9字	伏服副幅復襦腹複覆
ホク	1字	北
ボク	6字	木朴牧僕墨撲
マク	1字	膜
ミャク	1字	脈
モク	2字	目黙
ヤク	6字	厄役約訳薬躍
ヨク	5字	抑浴欲翌翼
ラク	3字	絡落酪
リク	1字	陸
リャク	1字	略
リョク	2字	力録
ロク	2字	六録
ワク	1字	惑

この類の漢字にも、「悪」「学」「国」のように後部の子音が「K」の場合に促音化する用例を持つものがある。

悪 ○～K：	悪化	アッカ	悪貨	アッカ	悪漢	アッカ
	悪口	アッコウ				
学 ○～K：	学科	ガッカ	学会	ガッカイ	学界	ガッカイ
	学館	ガッカン	学級	ガッキュウ	学究	ガッキュウ
	学区	ガック	学校	ガッコウ		
楽 ○～K：	楽器	ガッキ	楽曲	ガッキョク		
	楽観	ラッカン	(*ガクは呉音、ラクは漢音)			
国 ○～K：	国家	コッカ	国歌	コッカ	国花	コッカ
	国会	コッカイ	国旗	コッキ	国教	コッキョウ
	国境	コッキョウ	国権	コッケン	国庫	コッコ
	国父	コッコウ				

作	○~K :	作家	サッカ	作歌	サッカ	作況	サッキョウ
		作曲	サッキョク	作興	サッコウ		
借	○~K :	借家	シャッカ	借款	シャッカシ	借金	シャッキン
		借景	シャッケイ				
食	○~K :	食貨	ショッカ	食客	ショウカク	食間	ショウカン
		食器	ショッキ	食券	ショウケン		
触	○~K :	触角	ショウカク	触覚	ショウカク	触感	ショウカン
即	○~K :	即急	ソッキュウ	即興	ソッキョウ	即金	ソッキン
		即決	ソウケツ	即行	ソッコウ	即効	ソッコウ
		即刻	ソウコク	即今	ソウコン		
速	○~K :	速記	ソッキ	速急	ソッキュウ	速決	ソウケツ
		速攻	ソッコウ				
俗	○~K :	俗化	ゾッカ	俗界	ゾウカイ	俗解	ゾウカイ
		俗客	ゾウカク	俗間	ゾウカン	俗曲	ゾウキョク
着	○~K :	着火	チャッカ	着荷	チャッカ	着剣	チャウケン
		着工	チャウコウ				
直	○~K :	直下	チョウカ	直角	チョウカク	直覚	チョウカク
		直轄	チョウカツ	直感	チョウカン	直観	チョウカン
		直球	チョウキユウ	直系	チョウケイ	直径	チョウケイ
		直結	チョウケツ	直行	チョウコウ	直航	チョウコウ
特	○~K :	特価	トッカ	特記	トッキ	特急	トッキュウ
		特級	トッキュウ	特許	トッキョ	特惠	トウケイ
		特権	トウケン	特効	トウコウ	特高	トウコウ



白 ○～K： 白金 ハッキン                      白血病 ハッケツビョウ   白血球 ハッケッキュウ  
 白骨 ハッコツ  
 白虎 ビヤッコ   白狐 ビヤッコ (\*ハクは漢音、ビヤクは呉音)

復 ○～K： 復活 フッカツ                      復刊 フッカン                      復帰 フッキ  
 復旧 フッキュウ                      復権 フッケン                      復古 フッコ  
 復興 フッコウ                      復刻 フッコク

木 ○～K： 木剣 ボッケン  
 木灰 モッカイ                      木管 モッカン                      木琴 モッキン  
 木王 モッコウ                      木骨 モッコツ  
 (\*ボクは漢音、モクは呉音)

また、「百」と「六」のように、後部の子音が「K」の場合ばかりでなく「H」の場合にも促音化が起こるものがある。「H」の場合には、促音の後ろが「P」音に変わる。

百 ○～K： 百回 ヒヤッカイ                      百階 ヒヤッカイ                      百期 ヒヤッキ  
                     百機 ヒヤッキ                      百曲 ヒヤッキョク                      百区 ヒヤック  
                     百軒 ヒヤッケン                      百校 ヒヤッコウ  
 ○～H： 百杯 ヒヤッパイ                      百発 ヒヤッパツ                      百匹 ヒヤッピキ  
                     百品 ヒヤッピン                      百分 ヒヤッブン                      百歩 ヒヤッポ  
                     百本 ヒヤッポン

六 ○～K： 六回 ロッカイ                      六階 ロッカイ                      六期 ロッキ  
                     六機 ロッキ                      六曲 ロッキョク                      六区 ロック  
                     六軒 ロッケン                      六校 ロッコウ  
 ○～H： 六杯 ロッパイ                      六発 ロッパツ                      六匹 ロッピキ  
                     六百 ロッピヤク                      六品 ロッピン                      六分 ロッブン  
                     六歩 ロッポ                      六本 ロッポン

しかし、「核化(カクカ)」「曲解(キョクカイ)」「極刑(キョクケイ)」などのように、後ろに「K」音で始まる漢字が来ても促音化しない、もしくは促音化の用例の見当たらない漢字も、この類には数多く存在する。

また、「～キ」類の場合と同じように、以下の「億」「各」「箇」「格」などの39字については、促

音化する例が限られているため、特殊例と考えたほうがよいのではないかと思われる。

億	○～K	億劫	オックウ	
各	○～K	各国	カッコク	
画	○～K	画期	カッキ	
格	○～K	格好	カッコウ	
郭	○～K	郭公	カッコウ	
園	○～K	園下	カッカ	
確	○～K	確固	カッコ	
却	○～K	却下	キヤッカ	
客	○～K	客観	キヤッカ	
脚	○～K	脚下	キヤッカ	
克	○～K	克己	コッキ	
刻	○～K	刻下	コッカ	
錯	○～K	錯覚	サッカク	錯角 サッカク
尺	○～K	尺貫	シャッカ	
釈	○～K	釈教	シャッキョウ	
若	○～K	若干	ジャッカ	
弱	○～K	弱冠	ジャッカ	
寂	○～K	寂光	ジャッコウ	
織	○～K	織機	ショッキ	
職	○～K	職権	ショッケン	職工 ショッコウ
働	○～K	働近	ソッキン	働溝 ソッコウ
測	○～K	測候	ソッコウ	
属	○～K	属国	ゾッコク	
続	○～K	続行	ゾッコウ	
卓	○～K	卓球	タッキュウ	卓見 タッケン
独	○～K	独居	ドッキョ	
読	○～K	読解	ドッカイ	
薄	○～K	薄給	ハッキュウ	薄幸 ハッコウ
腹	○～K	腹筋	フッキン	
覆	○～K	覆刻	フッコク	
北	○～K	北海	ホッカイ	北極 ホッキョク
牧	○～K	牧歌	ボッカ	

墨 ○～K： 墨画 ボッカク  
 目 ○～K： 目下 モッカ  
 厄 ○～K： 厄介 ヤッカイ  
 約 ○～K： 約款 ヤッカク  
 薬 ○～K： 薬局 ヤッキョク  
 躍 ○～K： 躍起 ヤッキ  
 落 ○～K： 落下 ラッカ

前部構成要素の第2拍音が「～ク」類の漢字176字の促音化についてまとめると、[表2] のようになる。

[表2] 前部構成要素の第2拍音が「～ク」類の促音化

後部子音	K	S	T	H
握育屋憶角抵革核殼覺 較隔獲嚇穫岳額菊逆虐 曲局極玉谷黑殺酷獄劓 昨索策酢搾軸勺酌爵叔 祝宿淑肅縮塾熟色植殖 飾囑辱束足促則息族賊 宅沢沢拓託濯諾濁竹畜 逐蓄築嫡匿得督德篤毒 肉伯拍泊舶博麥暮漠縛 爆伏服副幅福複朴僕撲 膜脈默役訳抑浴欲翌翼 絡酪陸略力録録惑 (118字)	×	×	×	×
億各画格郭闊確却客脚 克刻錯尺積若弱寂織職 側測厲統卓独読薄腹覆 北牧墨目厄約薬躍落 (39字)	△	×	×	×
悪学楽国作借食触即速 俗着直特白復木 (17字)	○	×	×	×
百六 (2字)	○	×	×	○

この類に関しては、「愚」「学」などの17字が後部の子音が「K」の場合に促音化すると考えるのが適当であろう。後部の子音が「K」と「H」両方の場合に促音化が起こるのは、「百」と「六」のみであるため、この類の例外ルールとして扱うよりは、後に取り上げる「一」「八」「十」といっしょに数字の特殊読みとして指導するほうが学習者にとって覚えやすいのではないかと考えられる。

### 3.3 前部構成要素の第2拍音が「~チ」の類

前部構成要素の第2拍音が「~チ」の漢字は、次の6字のみである。

イチ	1字	一
キチ	1字	吉
シチ	1字	七
ニチ	1字	日
ハチ	2字	八鉢

このうち「鉢」と「吉」と「七」を除く以下の3字は、後部の子音が「K」「S」「T」「H」の場合に促音化する用例を持つ。

○~K:	一回	イッカイ	一階	イッカイ	一期	イッキ
	一機	イッキ	一曲	イッキョク	一区	イック
	一軒	イッケン	一校	イッコウ		
○~S:	一切	イッサイ	一歳	イッサイ	一冊	イッサツ
	一式	イッシキ	一生	イッショウ	一色	イッショク
	一心	イッシン	一身	イッシン	一寸	イッスン
	一世	イッセイ	一千	イッセン	一層	イッソウ
	一掃	イッソウ				
○~T:	一体	イッタイ	一帯	イッタイ	一反	イッタン
	一致	イッチ	一兆	イッチョウ	一丁	イッチョウ
	一通	イツツウ	一定	イッテイ	一点	イッテン
	一転	イッテン	一等	イットウ	一党	イットウ
	一頭	イットウ				
○~H:	一派	イッパ	一杯	イッバイ	一発	イッパツ
	一般	イッパン	一匹	イッピキ	一品	イッピン
	一服	イッブク	一分	イッブン	一歩	イッポ
	一方	イッポウ	一本	イッポン		

八	○~K :	八回	ハッカイ	八階	ハッカイ	八期	ハッキ
		八機	ハッキ	八曲	ハッキョク		
		八区	ハック	八軒	ハッケン	八校	イッコウ
	○~S :	八歳	ハッサイ	八冊	ハッサツ	八色	ハッショク
		八寸	ハッスン	八世	ハッセイ	八千	ハッセン
		八岳	ハッソウ				
	○~T :	八体	ハッタイ	八反	ハッタン	八兆	ハッチョウ
		八丁	ハッチョウ	八通	ハツツウ	八点	ハッテン
		八等	ハットウ	八党	ハットウ	八頭	ハットウ
	○~H :	八杯	ハッバイ	八発	ハッパツ	八匹	ハッピキ
		八百	ハッピャク	八品	ハッピン	八分	ハッブン
		八歩	ハッポ	八方	ハッポウ	八本	ハッボン
日	○~K :	日課	ニッカ	日刊	ニッカン	日記	ニッキ
		日系	ニッケイ	日光	ニッコウ	日航	ニッコウ
	○~S :	日参	ニッサン	日産	ニッサン	日食	ニッショク
		日数	ニッスウ	日赤	ニッセキ		
	○~T :	日通	ニツツウ	日程	ニッテイ	日展	ニッテン
		日当	ニットウ				
	○~H :	日本	ニッポン				

「吉」には「吉兆（キッチョウ）」という用例が1つしかないので、特殊例として扱ったほうがよい。「鉢」は、前部構成要素となることがないため、促音化の用例は見られない。「七」は、「~回」「~歳」「~等」「~杯」などの助数詞とともに用いられる場合は「なな」と訓読みし、「シチ」と読むのは「七時」「七度」「七年」「七人」など「K」「S」「T」「H」以外の子音で始まる助数詞の場合であるため、促音化しない。

したがって、前部構成要素の第2拍音が「~チ」の漢字6字の促音化についてまとめると、[表3]のようになる。

[表3] 前部構成要素の第2拍音が「~チ」の類の促音化

	後部子音	K	S	T	H
七鉢	(2字)	×	×	×	×
吉	(1字)	×	×	△	×
一日八	(3字)	○	○	○	○

この類はもともと漢字数も少なく、数字の「一」と「八」と「日」を除くと、促音化が問題になることはない。そこで、「一」と「八」は「六」「十」「百」とともに数字の読み方としてまとめることにして、残りは漢字「日」<sup>15)</sup>の促音化の問題として扱う方が学習者には覚えやすいだろう。

### 3.4 前部構成要素の第2拍音が「〜ツ」の類

最後に、前部構成要素の第2拍音が「〜ツ」の漢字は次の100字である。

アツ	1字	丘
イツ	1字	逸
エツ	4字	悦越謁閱
オツ	1字	乙
カツ	8字	括話喝渴割滑謁轄
ガツ	1字	月
キツ	2字	喫詰
クツ	2字	屈掘
ケツ	7字	欠穴血決結傑潔
コツ	1字	骨
サツ	7字	冊札刷殺察撮擦
ザツ	1字	雜
シツ	7字	失室疾執湿漆質
ジツ	1字	実
シュツ	1字	出
ジュツ	2字	述術
セツ	10字	切折拙窃接設雪拱節説
ゼツ	2字	舌絶
ソツ	2字	卒率
タツ	1字	達
ダツ	2字	脫奪
チツ	2字	秩墮
テツ	5字	迭哲鉄徹撤
トツ	2字	凸突
ネツ	1字	熱
ハツ	2字	兌髮
ハツ	4字	伐拔罰擗

ヒツ 4字 匹必泌筆  
 フツ 2字 払沸  
 ブツ 2字 仏物  
 ベツ 1字 別  
 ボツ 1字 没  
 マツ 2字 末抹  
 ミツ 1字 密  
 メツ 1字 滅  
 リツ 2字 立律  
 レツ 4字 列劣烈裂

この類は、「圧」「活」「月」「結」「雑」「失」「爽」「出」「接」「脱」「発」などのように、後部の子音が「K」「S」「T」「H」の場合余てに促音化する用例を持つものが多い。(他の用例については[資料1]を参照。)

圧	○~K:	圧巻	アッカ			
	○~S:	圧搾	アッサク	圧殺	アッサツ	圧死
		圧縮	アッシュク	圧政	アッセイ	圧制
	○~T:	圧倒	アットウ			
	○~H:	圧迫	アッパク			
活	○~K:	活気	カッキ	活況	カッキョウ	活計
		活火山	カッカザン			
	○~S:	活殺	カッサツ	活写	カッシャ	活性
		活栓	カッセン			
	○~T:	活着	カッチャク			
	○~H:	活発	カッパツ	活版	カッパン	
月	○~K:	月下	ゲッカ	月刊	ゲッカン	月間
		月給	ゲッキユウ	月琴	ゲッキン	月経
		月光	ゲッコウ			
	○~S:	月産	ゲッサン	月謝	ゲッシャ	月収
		月食	ゲッショク			
	○~T:	月旦	ゲッタン			
	○~H:	月表	ゲッピョウ	月評	ゲッピョウ	月賦

月餅 ゲッペイ                      月俸 ゲッポウ                      月報 ゲッポウ  
 月日 ガッピ

(\*ゲツは漢音、ガツは呉音)

結	○～K :	結果	ケッカ	結界	ケッカイ	結核	ケッカク
		結球	ケッキュウ	結局	ケッキョク	結句	ケック
		結構	ケッコウ	結婚	ケッコン		
	○～S :	結社	ケッシャ	結集	ケッシュウ	結晶	ケッショウ
		結審	ケッシン	結成	ケッセイ	結石	ケッセキ
		結節	ケッセツ	結束	ケッソク		
	○～T :	結滯	ケッタイ	結託	ケッタク	決着	ケッチャク
		結腸	ケッチョウ	結締	ケッテイ	結党	ケットウ
	○～H :	結髪	ケッパツ	結氷	ケッピョウ		
雑	○～K :	雑貨	ザッカ	雑感	ザッカン	雑記	ザッキ
		雑居	ザッキョ	雑菌	ザッキン	雑件	ザッケン
		雑考	ザッコウ	雑殺	ザッコク	雑婚	ザッコン
	○～S :	雑誌	ザッシ	雑種	ザッシュ	雑書	ザッショ
		雑食	ザッショク	雑草	ザッソウ	雑刊	ザッソク
	○～T :	雑多	ザッタ	雑踏	ザットウ		
	○～H :	雑俳	ザッバイ	雑費	ザッピ	雑筆	ザッピツ
		雑品	ザッピン	雑報	ザッポウ		
失	○～K :	失火	シッカ	失格	シッカク	失陥	シッカク
		失脚	シッキャク	失禁	シッキン	失敬	シッケイ
		失効	シッコウ				
	○～S :	失策	シッサク	失笑	シッショウ	失職	シッショク
		失心	シッシン	失神	シッシン	失政	シッセイ
		失跡	シッセキ	失踪	シッソウ	失速	シッソク
	○～T :	失態	シッタイ	失地	シッチ	失調	シッチョウ
		失墜	シツツイ	失点	シッテン	失当	シットウ
	○～H :	失敗	シッバイ	失費	シッピ		



実	○～K：	実家	ジッカ	実感	ジッカン	実況	ジッキョウ	
		実兄	ジッケイ	実刑	ジッケイ	実権	ジッケン	
		実験	ジッケン	実行	ジッコウ	実効	ジッコウ	
	○～S：	実際	ジッサイ	実子	ジッシ	実施	ジッシ	
		実証	ジッショウ	実数	ジッスウ	実績	ジッセキ	
		実戦	ジッセン	実践	ジッセン	実線	ジッセン	
		実相	ジッソウ	実測	ジッソク			
	○～T：	実体	ジッタイ	実態	ジッタイ	実地	ジッチ	
		実直	ジッチョク	実弟	ジッテイ			
	○～H：	実費	ジッピ	実父	ジッブ			
	出	○～K：	出火	シュッカ	出荷	シュッカ	出棺	シュッカン
			出金	シュッキン	出勤	シュッキン	出家	シュッケ
			出欠	シュッケツ	出血	シュッケツ	出庫	シュッコ
			出向	シュッコウ	出航	シュッコウ	出港	シュッコウ
出国			シュッコク					
○～S：		出札	シュッサツ	出産	シュッサン	出仕	シュッシ	
		出資	シュッシ	出社	シュッシャ	出所	シュッショ	
		出生	シュッショウ	出色	シュッショク	出身	シュッシン	
		出水	シュッスイ	出世	シュッセ	出征	シュッセイ	
		出席	シュッセキ	出走	シュッソウ			
○～T：		出張	シュッチョウ	出廷	シュッテイ	出典	シュッテン	
		出願	シュットウ					
○～H：		出発	シュッパツ	出帆	シュッパン	出版	シュッパン	
		出費	シュッピ	出品	シュッピン	出兵	シュッペイ	
接		○～K：	接客	セッキヤク	接近	セッキン	接見	セッケン
			接骨	セッコツ				
		○～S：	接写	セッシャ	接種	セッシュ	接收	セッシュウ
			接触	セッショク	接戦	セッセン	接線	セッセン
	○～T：	接待	セッタイ	接地	セッチ	接着	セッチャク	
		接点	セッテン					
	○～H：	接伴	セッパン	接吻	セッブン			

脱	○～K：	脱化	ダッカ	脱会	ダッカイ	脱却	ダッキヤク
		脱臼	ダッキユウ	脱去	ダッキョ	脱稿	ダッコウ
		脱穀	ダッコク				
	○～S：	脱脂	ダッシ	脱臭	ダッシュユウ	脱出	ダッシュユツ
		脱色	ダッショク	脱水	ダッスイ	脱線	ダッセン
		脱走	ダッソウ				
	○～T：	脱退	ダッタイ	脱腸	ダッチョウ	脱兔	ダット
		脱党	ダットウ				
	○～H：	脱藩	ダッパン	脱皮	ダッピ		
発	○～K：	発火	ハッカ	発覚	ハッカク	発刊	ハッカク
		発汗	ハッカク	発揮	ハッキ	発狂	ハッキョウ
		発禁	ハッキン	発見	ハッケン	発行	ハッコウ
		発光	ハッコウ	発酵	ハッコウ		
		発起	ホッキ	発句	ホック		
	○～S：	発散	ハッサン	発射	ハッシャ	発祥	ハッショウ
		発信	ハッシン	発進	ハッシン	発疹	ハッシン
		発生	ハッセイ	発声	ハッセイ		
		発作	ホッサ	発心	ホッシン	発足	ホッソク
	○～T：	発達	ハッタツ	発注	ハッチュウ	発展	ハッテン
		発端	ホッタン				
	○～H：	発布	ハッブ	発憤	ハッブン	発砲	ハッポウ

(\*ハツは漢音、ホツは呉音)

しかし、以下のようにある場合の用例が欠けているものもある。促音化の用例がかなり限られており、特殊例と考えたほうがよい場合も多い。

説	○～K：	説教	セッキョウ	説経	セッキョウ
	～S：	—			
	○～T：	説得	セツトク		
	○～H：	説破	セツパ	説法	セツポウ
達	○～K：	達観	タツカン	達見	タツケン
	○～S：	達者	タツシャ	達成	タツセイ

- ~T: -  
 ○~H: 達筆 タッピツ  
 設 ○~K: 設計 セッケイ  
 ~S: -  
 ○~T: 設置 セッチ                      設定 セッテイ  
 ~H: -  
 逸 ~K: -  
 ○~S: 逸散 イッサン                      逸出 イッシュツ                      逸走 イッソウ  
 ~T: -  
 ○~H: 逸品 イッピン

ここで、「~ツ」類の漢字100字の促音化について [表4] にまとめる。

[表4] 前部構成要素の第2拍音が「~ツ」の類の促音化

後部子音	K	S	T	H
乙轄札撮室秩迭哲閏泌 (10字)	-	-	-	-
括穴擦漆 (4字)	△	-	-	-
渴掘傑冊刷質室伐律 (9字)	-	△	-	-
察 (1字)	-	-	△	-
悦閏髮 (3字)	-	-	-	△
渴滑詰述拱奪裂 (7字)	△	△	-	-
褐窃率徹弘沸 (6字)	-	△	△	-
匹 (1字)	-	-	△	△
越設卒 (3字)	△	-	△	-
割凸 (2字)	△	-	-	△
逸喝潔 (3字)	-	△	-	△
術舌没抹劣 (5字)	△	△	△	-
喫疾達烈 (4字)	△	△	-	△
説 (1字)	△	-	△	△
決必 (2字)	○	○	○	-
枉活月屈欠血結骨殺雜 失執濕災出切折拙接絶 脱鉄撤突熱発抜罰筆雪 節仏物別末密滅立列 (39字)	○	○	○	○

\*「-」は、促音化しない(X)ということではなく、その用例がないという意味である。個々の漢字の用例については、[資料2]を参照。

この類で促音化の例が全く見られない漢字は10字（乙轄札搬案秩迭哲閩沁）のみである。今までの類の中で最も促音化する用例を多く持つ類であるが、ある程度多くの促音化の用例を持つものは、「～K、～S、～T、～H」の前で促音化する「匠」「活」などの39字と、「決」と「必」で、合わせて41字である。

決	○～K：	決河	ケッカ	決壊	ケッカイ	決起	ケッキ
		決行	ケッコウ				
	○～S：	決済	ケッサイ	決裁	ケッサイ	決算	ケッサン
		決死	ケッシ	決勝	ケッショウ	決心	ケッシン
		決戦	ケッセン				
	○～T：	決着	ケッチャク	決定	ケッテイ	決闘	ケットウ
必	○～K：	必携	ヒッケイ	必見	ヒッケン		
	○～S：	必殺	ヒッサツ	必死	ヒッシ	必至	ヒッシ
		必修	ヒッシュュウ	必勝	ヒッショウ	必須	ヒッス
	○～T：	必着	ヒッチャク	必中	ヒッチュウ		

それ以外の49字についての特殊例の分布は、かなり不規則でバラバラなので、ルールとして示すより、使用頻度の高いものだけを集めて覚えるほうがよいと思われる。外国人学習者にとっても覚える必要のありそうなものとして、次の70例をあげておく。

括弧	カッコ	漆器	シッキ	傑作	ケッサク	傑出	ケッシュツ
冊子	サッシ	刷新	サッシン	質素	シッソ	窒素	チッソ
窒息	チッソク	伐採	バッサイ	察知	サッチ	閩兵	エッペイ
謁見	エッケン	滑降	カッコウ	滑車	カッシャ	滑走	カッソウ
逮捕	ジュッカイ	摂氏	セッシ	摂政	セッショウ	摂生	セッセイ
奪回	ダッカイ	奪還	ダッカン	裂傷	レッショウ	褐色	カッショク
窃盗	セットウ	率先	ソッセン	率直	ソッチョク	徹底	テッテイ
払拭	フッシュョク	沸点	フッテン	沸騰	フットウ	匹敵	ヒッテキ
越境	エッキョウ	越権	エッケン	越冬	エットウ	設計	セッケイ
設置	セッチ	設定	セッテイ	卒中	ソッチュウ	卒倒	ソットウ
割拠	カッキョ	割腹	カップク	凸起	トッキ	凸版	トッパン
逸品	イッピン	喝采	カッサイ	潔白	ケッバク	潔癖	ケッパキ
舌禍	ゼッカ	舌戦	ゼッセン	没収	ボッシュュウ	没頭	ボットウ

抹殺	マッサツ	抹消	マッショウ	抹茶	マッチャ	劣化	レッカ
劣勢	レッセイ	劣等	レトウ	喫茶	キッサ	疾患	シッカ
疾走	シッソウ	疾病	シッペイ	達者	タッサ	達成	タッセイ
達筆	タッピツ	烈火	レノカ	烈震	レッシン	説教	セッキョウ
説得	セツトク	説法	セツポウ				

### 3.5 その他の促音化

字音が「ジュウ」の場合について考えてみよう。現在の常用漢字の範囲では、字音が「ジュウ」の漢字は「十、汁、充、住、重、拾、柔、従、洪、銃、獸、縦」の12字であるが、そのうち促音化が見られるのは「十」のみである。したがって、学習者に指導する際には、字音が「ジュウ」の場合の問題というよりも、漢字「十」の問題として説明したほうがわかりやすいと思われる。

また、国立国語研究所(1988)では、旧仮名遣いで「〜フ」と表記された入声音が前部構成要素となって「K、S、T、H」の頭子音を持つ後部構成要素が促音化する現象について、以下のような例をあげている。

合戦	カフセン	→	カッセン
早速	サフソク	→	サッソク
十干	ジフカン	→	ジッカン
納得	ナフトク	→	ナットク
法度	ハフト	→	ハット

上の「合」「早」「十」「納」「法」のそれぞれについて、用例を見てみると、次のような分布になっている。

合	×~K :	合格	ゴウカク	合金	ゴウキン	合計	ゴウケイ
		合憲	ゴウケン				
	○~S :	合作	ガッサク	合播	ガッサツ	合算	ガッサン
		合宿	ガッシュク	合唱	ガッシュョウ	合掌	ガッシュョウ
		合奏	ガッソウ	合戦	カッセン		
	×~S :	合資	ゴウシ	合成	ゴウセイ		
	○~T :	合体	ガッタイ	合致	ガッチ	合点	ガッテン
	○~H :	合評	ガッピョウ	合併	ガッペイ	合璧	ガッベキ
		合邦	ガッポウ	合本	ガッボン	合羽	カッパ
	×~H :	合板	ゴウハン	合法	ゴウホウ		

「合」では、後部構成子音が「K」の場合には促音化が起こらず、「T」の場合には常に促音化が起こっている。ただし、「S」「H」の場合には、促音化の用例も見られるが、「合資（ゴウシ）」「合成（ゴウセイ）」や「合板（ゴウハン）」「合法（ゴウホウ）」のように、促音化しない用例もある。岩波漢語辞典（1987）によれば、「ゴウ<ガフ>」は呉音、「コウ<カフ>」は漢音、「ガッ・カッ」は慣用音とされている。ただし、外国人学習者にとっては、同じような促音化の現象に見えるので、指導する必要があるだろう。

「早」についても、同じようなことが言える。

早	○~K:	早急	サッキュウ				
	×~K:	早期	ソウキ	早計	ソウケイ	早婚	ソウコン
	○~S:	早速	サツソク				
	×~S:	早秋	ソウシュウ	早春	ソウシュン	早世	ソウセイ
	×~T:	早退	ソウタイ	早朝	ソウチャウ	早天	ソウテン

同辞典によれば、「ソウ<サウ>」は呉音・漢音で、「サッ」は慣用音とされている。「早」では、後部構成子音が「K」と「S」の場合に「早急（サッキュウ）」と「早速（サツソク）」という例が見られるが、促音化しない用例の方が多い。また後ろに「T」が来る場合には促音化の例は見られず、「H」が後ろに来る熟語の例はなかった。

「納」については、後部構成子音が「K」「H」の場合には促音化が見られず、「S」「T」の場合に「納所（ナツショ）」「納豆（ナットウ）」「納得（ナットク）」のような例が見られるのみである。同辞典によれば、「ノウ<ナフ>」は呉音で、「ナッ・ナン・ナ」は慣用音とされている。漢音の「トウ<タフ>」は熟語の前部構成要素となるときには現われないため、促音化しない。

納	×~K:	納食	ノウカイ	納棺	ノウカン	納期	ノウキ
		納経	ノウキョウ	納金	ノウキン	納音	ノウコツ
	( )~S:	納所	ナツショ				
	×~S:	納札	ノウサツ				
	( )~T:	納豆	ナットウ	納得	ナットク		
	×~H:	納品	ノウヒン	納付	ノウフ	納本	ノウホン

「法」についても、「ノウ<ホフ>」は呉音で、「ノウ<ハフ>」が漢音、「ハッ・ホッ」が慣用音とされている。後ろに「K」「S」「T」「H」が来る場合それぞれに、「法橋（ホッキョウ）」「法華（ホツケ）」「法身（ホッシン）」「法度（ハット）」「法被（ハッピ）」のような例が見られる。

法	○～K：	法橋	ホッキョウ	法華	ホッケ		
	×	法家	ホウカ	法科	ホウカ	法貨	ホウカ
		法界	ホウカイ	法官	ホウカン	法規	ホウキ
		法器	ホウキ				
	○～S：	法身	ホッシン				
	×	法師	ホウシ	法式	ホウシキ	法相	ホウショウ
		法制	ホウセイ	法曹	ホウソウ	法則	ホウソク
	○～T：	法度	ハット				
	×	法治	ホウチ	法廷	ホウテイ	法定	ホウテイ
		法的	ホウテキ	法敵	ホウテキ	法典	ホウテン
	○～H：	法被	ハッピ				
	×	法服	ホウフク				

「十」の場合も、「ジュウ<ジフ>」が呉音で、「ジッ」が慣用音とされているが、現代日本語では「ジュッ」という促音化も認められるであろう。後部構成子音が「K」「S」「T」「H」それぞれの場合に例外なく促音化が見られる点が、先の「合」「早」「納」「法」とは異なっている。

十	○～K：	十課	ジッカ ジュッカ	十回	ジッカイ ジュッカイ	十階	ジッカイ ジュッカイ
		十威	ジッカイ ジュッカイ	十機	ジッキ ジュッキ	十曲	ジッキョク ジュッキョク
		十区	ジック ジュック	十軒	ジッケン ジュッケン	十戸	ジッコ ジュッコ
	○～S：	十歳	ジッサイ ジュッサイ	十冊	ジッサツ ジュッサツ	十指	ジッシ ジュッシ
		十色	ジッショク ジュッショク	十寸	ジッスン ジュッスン	十銭	ジッセン ジュッセン
		十層	ジッソウ ジュッソウ	十足	ジッソク ジュッソク		
	○～T：	十反	ジッタン ジュッタン	十中	ジッチュウ ジュッチュウ	十丁	ジッチョウ ジュッチョウ
		十通	ジッツウ ジュッツウ	十点	ジッテン ジュッテン	十頭	ジットウ ジュットウ

	十等	ジットウ	十棟	ジットウ	
		ジュットウ		ジュットウ	
○～H:	十派	ジッパ	十杯	ジッバイ	十発
		ジュッパ		ジュッバイ	ジュッパツ
	十匹	ジッピキ	十品	ジッピン	十分
		ジュッピキ		ジュッピン	ジュッピン
	十歩	ジッポ	十本	ジッボン	
		ジュッポ		ジュッボン	

さて、「合」「早」「納」「法」について見るかぎりは、用例も限られており、特殊読みの語彙として教えられるほうが覚えやすいだろう。しかし、「十」については促音化が規則的に見られるので、前に検討した「一」「六」「八」「百」の数字の類といっしょに以下のように扱うことが考えられる。

〔表5〕 前部構成要素となる数字の第2拍音の促音化

後部子音	K	S	T	H
二三四五七九	×	×	×	×
六百	○	×	×	○
一八十	○	○	○	○

#### 4. まとめと今後の課題

外国人学習者のために、現代の常用漢字内において字音語に見られる漢字の促音化現象について見てきた。日本語教育のための指導上の方針としては、以下のようにまとめることができるのではないだろうか。

字音語の前部構成要素の第2拍の音が「～キ、～ク、～チ、～ツ」のとき、後部構成要素の頭子音が「K、S、T、H」の場合に、前部第2拍音が促音化する漢字がある。その他に、数字「一、六、八、十、百」のあとに助数詞がつく場合、漢字「合、早、納、法」についても促音化が起こる場合がある。

(1) 「～キ」類(35字)については、「石」のみが「K音」の前で常に促音化する。特殊例として、「積極的」「赤血球」を教える。(残りの33字はルール外とする。)

(2) 「～ク」類(176字)については、「悪学楽国作借食触即速俗着直特白復木(17字)」が「K音」



の前で促音化する。39字について、使用頻度の高い重要語のみ特殊例として教える。「六、百」については数字としてまとめて扱う。(残りの118字はルール外とする。)

- (3) 「〜チ」類 (6字) については、「目」のみ「K、S、T、H」全音の前で促音化する。「一、八」については数字としてまとめて扱う。(残りの3字はルール外とする。)
- (4) 「〜ツ」類 (100字) については、「K、S、T、H」全音の前で促音化するものが39字、K、S、Tの前で促音化するものが2字あり、合わせて41字と最も多い。あと49字については、促音化の起こる環境が複雑で用例も限られているため、使用頻度の高い重要語のみ特殊例として教える。(残りの10字はルール外である。)
- (5) 数字「一」「六」「八」「十」「百」の促音化ルールは、まとめて教える。「一、八、十」は「K、S、T、H」全音の前で促音化するが、「六、百」は「K、H」音の前のみで促音化する。
- (6) 「合」「早」「納」「法」については、慣用音で読む熟語にのみ促音が見られるため、中でも使用頻度の高い重要語のみを特殊例として教える。

以上、字音語における促音化の現象について整理し、指導の方針を立ててみた。しかし、時間の関係で効果的な練習方法については十分に検討ができなかった。また、どのような用例を使用頻度の高い重要語とするという基準も、筆者の日本語教育者としての経験的判断にすぎない。これらの検討を今後の課題とするとともに、学習者の漢字語彙の読みの習得を助ける指導方法について、さらに考えていきたい。

#### 注

- (1) 詳しくは文献4のp.137～p.143を参照。
- (2) ここで「T」としているのは日本語のタ行音のことであり、音韻的には [ch] の音と [ts] の音も入る。また、「H」としているのは、元の漢字音であり、実際の字音語中では「P」として現れる。
- (3) 本稿中の熟語例は、主に山口明穂・竹田晃編『岩波漢語辞典』(1987)を中心に採取したものである。ただし、外国人に対する日本語教育の立場から不必要だと思われる使用頻度の低い用例については、割愛した。
- (4) 「域」は「異域・音域・海域・境域・区域・空域・芸域・広域・西域・職域・神域・水域・声域・聖域・余域・地域・流域・領域・霊域」などのように、区切られた土地や範囲を示す漢字で、熟語の前部構成要素になっている例は、「域外」と「域内」のみであった。「撃」「式」「席」

「跡」「績」「籍」「笛」「癖」なども同様である。

- (5) 「日」には、「ニチ」(呉音)と、「ジツ」(漢音)という2つの音読みがあるが、促音化の用例が見られるのは前者であることから、そちらの類に入れた。他の漢字についても同様の扱い方をしている。
- (6) 旧仮名遣いでは「充、従、銃」は「ジュウ」、「十、拾、洩、汁」は「ジフ」、「柔、獸」は「ジウ」、「住、重」は「チュウ」と書かれていた。「十」は、旧仮名遣いで「ジフ」と表記されたものの中で、唯一促音化する。

#### 参考文献

1. 加納千恵子(1993)「漢字圏学習者への中級漢字指導の問題－「火(タイ・ダイ・おお)」の読み分けを例に－」『日本語教育方法研究会誌』Vol.1 No.2 pp.16-17
2. 加納千恵子(1994a)「漢字圏学習者への中級漢字指導の問題(2)－音読みが2つ以上ある漢字の指導－」『日本語教育方法研究会誌』Vol.1 No.3 pp.4-5
3. 加納千恵子(1994b)「2種類の音読みを持つ漢字の読み分け指導」『平成6年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.55-58
4. 国立国語研究所(1988)「文字・表記の教育」大蔵省印刷局
5. 武部良明(1989)「漢字の教え方」アルク

#### 辞典

山口明徳・竹田晃編(1987)『岩波漢語辞典』岩波書店

[資料1] 前部構成要素が「～ツ」類で「K、T、S、H」の前で促音化する漢字の用例（本文中  
で取り上げた漢字以外）

屈	○～K：	屈強	クッキョウ	屈曲	クッキョク		
	○～S：	屈指	クッシ	屈伸	クッシン	屈折	クッセツ
	○～T：	屈託	クッタク				
	○～H：	屈服	クップク				
欠	○～K：	欠課	ケッカ	欠画	ケッカク	欠格	ケッカク
		欠陥	ケッカシ	欠勤	ケッキン	欠航	ケッコウ
	○～S：	欠食	ケッショク	欠席	ケッセキ	欠損	ケッソン
	○～T：	欠点	ケッテン				
○～H：	欠配	ケッバイ	欠本	ケッボン			
血	○～K：	血塊	ケッカイ	血管	ケッカシ	血気	ケッキ
		血球	ケッキユウ	血行	ケッコウ	血痕	ケッコシ
	○～S：	血書	ケッショ	血色	ケッショク	血小板	ケッショウバン
		血清	ケッセイ	血栓	ケッセン	血戦	ケッセン
	血相	ケッソウ					
○～T：	血統	ケットウ	血糖値	ケットウチ			
○～H：	血判	ケッパン	血粉	ケッポン			
骨	○～K：	骨灰	コッカイ	骨角	コッカク	骨格	コッカク
		骨幹	コッカシ			血痕	ケッコシ
	○～S：	骨子	コッシ	骨折	コッセツ	骨相	コッソウ
	○～T：	骨頂	コッチョウ	骨董	コットウ		
○～H：	骨粉	コッポン	骨法	コッポウ			
殺	○～K：	殺気	サッキ	殺鬼	サッキ	殺菌	サッキン
	○～S：	殺傷	サッショウ	殺青	サッセイ		
	○～T：	殺到	サットウ	殺虫剤	サッチュウザイ		
	○～H：	殺風景	サップウケイ				
執	○～K：	執権	シッケン	執行	シッコウ		

	○～S：	執政	シッセイ	執奏	シツソウ		
	○～T：	執達	シツタツ	執刀	シツトウ		
	○～H：	執筆	シツピツ	執柄	シツペイ		
湿	○～K：	湿気	シツキ・シツケ				
	○～S：	湿疹	シツシン	湿生	シツセイ	湿性	シツセイ
	○～T：	湿地	シツチ				
	○～H：	湿布	シツブ				
切	○～K：	切開	セツカイ				
	○～S：	切礎	セツサ	切削	セツサク	切齒	セツシ
		切線	セツセン				
	○～T：	切点	セツテン				
	○～H：	切迫	セツバク	切腹	セツブク	切片	セツベン
折	○～K：	折角	セツカク	折檻	セツカン		
	○～S：	折衝	セツショウ	折損	セツソン		
	○～T：	折衷	セツチュウ				
	○～H：	折半	セツバン				
拙	○～K：	拙稿	セツコウ				
	○～S：	拙作	セツサク	拙策	セツサク	拙者	セツシャ
		拙體	セツソウ	拙速	セツソク		
	○～T：	拙宅	セツタク	拙著	セツチャ		
	○～H：	拙筆	セツピツ				
雪	○～K：	雪溪	セツケイ	雪景	セツケイ		
	○～S：	雪線	セツセン				
	○～T：	雪駄	セツタ	雪中	セツチュウ	雪隠	セツチン
	○～H：	雪白	セツバク	雪膚	セツブ	雪片	セツベン
節	○～K：	節季	セツキ	節句	セツク	節儉	セツケン
	○～S：	節士	セツシ	節酒	セツシュ	節食	セツシヨク
		節水	セツスイ	節制	セツセイ	節操	セツソウ

		節足	セツソク				
	○～T :	節刀	セツトウ				
	○～H :	節婦	セツブ				
絶	○～K :	絶海	ゼツカイ	絶叫	ゼツキョウ	絶境	ゼツキョウ
		絶句	ゼツク	絶景	ゼツケイ	絶交	ゼツコウ
		絶好	ゼツコウ				
	○～S :	絶賛	ゼツサン	絶唱	ゼツシヨウ	絶勝	ゼツシヨウ
		絶食	ゼツシヨク	絶世	ゼツセイ	絶息	ゼツソク
	○～T :	絶对	ゼツタイ	絶頂	ゼツチヨウ	絶倒	ゼツトウ
	○～H :	絶版	ゼツパン	絶筆	ゼツピツ	絶品	ゼツピン
		絶壁	ゼツベキ				
鉄	○～K :	鉄火	テツカ	鉄管	テツカン	鉄橋	テツキョウ
		鉄筋	テツキン	鉄血	テツケツ	鉄拳	テツケン
		鉄鋼	テツコウ	鉄工	テツコウ	鉄鉞	テツコウ
		鉄骨	テツコツ				
	○～S :	鉄柵	テツサク	鉄石	テツセキ	鉄線	テツセン
		鉄扇	テツセン	鉄則	テツソク		
	○～T :	鉄柱	テツチュウ	鉄塔	テツトウ		
	○～H :	鉄板	テツパン	鉄粉	テツブン	鉄筆	テツピツ
		鉄壁	テツベキ	鉄砲	テツポウ		
撤	○～K :	撤回	テツカイ	撤去	テツキョ		
	○～S :	撤収	テツシュウ				
	○～T :	撤退	テツタイ				
	○～H :	撤廃	テツバイ	撤兵	テツベイ		
突	○～K :	突貫	トツカン	突起	トツキ		
	○～S :	突出	トツシュツ	突進	トツシン		
	○～T :	突端	トツタン	突堤	トツテイ		
	○～H :	突破	トツバ	突発	トツバツ	突飛	トツビ
		突拍子	トツピョウシ	突風	トツプウ		

熱	○～K：	熱氣	ネッキ	熱狂	ネッキョウ	熱血	ネッケツ
	○～S：	熱砂	ネッサ	熱贊	ネッサン	熱射病	ネッシャビョウ
		熱心	ネッシン	熱性	ネッセイ	熱戦	ネッセン
		熱線	ネッセン				
	○～T：	熱帯	ネッタイ	熱中	ネッチュウ	熱湯	ネットウ
	○～H：	熱風	ネップウ				
抜	○～K：	抜劍	バッケン				
	○～S：	抜糸	バッシ	抜歯	バッシ	抜粋	バッセイ
		抜染	バッセン				
	○～T：	抜擢	バツテキ	抜刀	バットウ		
	○～H：	抜本	バッボン				
罰	○～K：	罰金	バッキン				
	○～S：	罰則	バツソク				
	○～T：	罰点	バツテン				
	○～H：	罰杯	バツバイ	罰俸	バツボウ		
筆	○～K：	筆禍	ヒッカ	筆画	ヒッカク	筆管	ヒツカン
		筆記	ヒッキ	筆耕	ヒッコウ		
	○～S：	筆削	ヒッサク	筆算	ヒッサン	筆紙	ヒッシ
		筆写	ヒッシャ	筆者	ヒッシャ	筆触	ヒッショク
		筆生	ヒッセイ	筆勢	ヒッセイ	筆跡	ヒッセキ
		筆洗	ヒッセン	筆戦	ヒッセン		
	○～T：	筆端	ヒツタン	筆致	ヒツチ	筆答	ヒットウ
		筆頭	ヒットウ				
	○～H：	筆法	ヒツボウ				
仏	○～K：	仏家	ブッカ	仏界	ブツカイ	仏閣	ブツカク
		仏教	ブツキョウ	仏工	ブツコウ		
	○～S：	仏參	ブッサン	仏子	ブッシ	仏師	ブッシ
		仏式	ブッシキ	仏者	ブッシヤ	仏所	ブッショ
		仏書	ブッショ	仏性	ブッショウ	仏心	ブッシン
		仏説	ブッセツ	仏祖	ブツソ	仏葬	ブツソウ

	○～T :	仏頂	ブッチョウ	仏敵	ブツテキ	仏典	ブツテン
		仏徒	ブツト	仏塔	ブツトウ		
	○～H :	仏法	ブツポウ				
物	○～K :	物化	ブツカ	物価	ブツカ	物狂	ブツキョウ
		物件	ブツケン	物権	ブツケン	物故	ブツコ
	○～S :	物産	ブツサン	物資	ブツシ	物質	ブツシツ
		物証	ブツショウ	物象	ブツショウ	物色	ブツショク
		物心	ブツシン	物性	ブツセイ	物騒	ブツソウ
	○～T :	物体	ブツタイ	物的	ブツテキ		
	○～H :	物品	ブツピン				
別	○～K :	別火	ベツカ	別格	ベツカク	別館	ベツカン
		別記	ベツキ	別居	ベツキョ	別家	ベツケ
		別掲	ベツケイ	別働	ベツコ	別項	ベツコウ
		別懇	ベツコン				
	○～S :	別冊	ベツサツ	別使	ベツシ	別紙	ベツシ
		別室	ベツシツ	別種	ベツシュ	別所	ベツシヨ
		別称	ベツショウ	別世界	ベツセカイ	別席	ベツセキ
		別送	ベツソウ	別荘	ベツソウ		
	○～T :	別体	ベツタイ	別宅	ベツタク	別珍	ベツチン
		別邸	ベツテイ	別天地	ベツテンチ	別途	ベツト
		別当	ベツトウ				
	○～H :	別派	ベツパ	別杯	ベツバイ	別表	ベツビョウ
		別品	ベツピン	別封	ベツブウ	別法	ベツポウ
		別本	ベツボン				
末	○～K :	末期	マツキ				
	○～S :	末社	マツシャ	末書	マツシヨ	末世	マツセ
		末席	マツセキ	末節	マツセツ	末孫	マツソン
		末子	バツシ (マツシ)				
	○～T :	末端	マツタン				
		末弟	バツテイ (マツテイ)				
	○～H :	末派	マツパ	末輩	マツバイ	末筆	マツビツ

末法 マッポウ

(\*マツは呉音、バツは漢音)

密	○~K :	密会	ミツカイ	密教	ミツキョウ	密計	ミツケイ	
		密行	ミツコウ	密航	ミツコウ	密告	ミツコク	
	○~S :	密殺	ミツサツ	密使	ミツシ	密室	ミツシツ	
		密集	ミツシュウ	密書	ミツショ	密植	ミツシヨク	
		密生	ミツセイ	密接	ミツセツ	密栓	ミツセン	
		密訴	ミツソ	密送	ミツソウ	密葬	ミツソウ	
	○~T :	密着	ミツチャク	密勅	ミツチョク	密通	ミツツウ	
		密偵	ミツテイ					
	○~H :	密夫	ミツブ	密封	ミツブウ	密閉	ミツベイ	
		密法	ミツポウ					
	滅	○~K :	滅却	メツキヤク	滅菌	メツキン		
		○~S :	滅私	メツシ	滅失	メツシツ	滅相	メツソウ
		○~T :	滅多	メツタ				
		○~H :	滅法	メツポウ				
立	○~K :	立花	リツカ	立夏	リツカ	立脚	リツキヤク	
		立憲	リツケン	立候補	リツコウホ	立国	リツコク	
	○~S :	立志伝	リツシデン	立秋	リツシュウ	立春	リツシュン	
		立証	リツシヨウ	立食	リツシヨク	立身	リツシン	
	○~T :	立体	リツタイ	立地	リツチ	立冬	リツトウ	
		立党	リツトウ					
	○~H :	立派	リツバ	立腹	リツブク	立方	リツポウ	
		立法	リツポウ					
	列	○~K :	列火	レツカ	列記	レツキ	列挙	レツキョ
			列強	レツキョウ	列国	レツコク		
○~S :		列車	レツシャ	列世	レツセイ	列席	レツセキ	
○~T :		列島	レツトウ					
○~H :		列藩	レツバン					



【資料2】前部構成要素が「～ツ」類で不規則に促音化する漢字の用例

用例が限られているもの：

括	○～K	括弧	カッコ			
穴	○～K	穴居	ケッキョ			
擦	○～K	擦過	サッカ			
漆	○～K	漆器	シッキ			
湯	○～S	湯水	カッサイ			
掘	○～S	掘削	クッサク			
傑	○～S	傑作	ケッサク	傑出	ケッシュツ	
冊	○～S	冊子	サッシ			
刷	○～S	刷新	サッシン			
質	○～S	質素	シッソ			
窒	○～S	窒死	チッシ	窒素	チッソ	窒息
伐	○～S	伐採	バッサイ			
律	○～S	律詩	リッシ	律宗	リッシュウ	
察	○～T	察知	サッチ			
悦	○～H	悦服	エップク			
閔	○～H	閔兵	エッペイ			
髮	○～H	髮膚	ハップ			
謁	○～K	謁見	エッケン			
	○～S	謁刺	エッシ			
滑	○～K	滑空	カックウ	滑降	カッコウ	
	○～S	滑車	カッシャ	滑石	カッセキ	滑走
詰	○～K	詰屈	キックツ			
	○～S	詰責	キッセキ			
述	○～K	述懐	ジュッカイ			
	○～S	述作	ジュッサク			
撰	○～K	撰関	セッカ	撰家	セッケ	

	○～S：	摂氏	セッシ		摂政	セッショウ		摂生	セッセイ
奪	○～K：	奪回	ダツカイ		奪還	ダツカン			
	○～S：	奪取	ダツシュ						
裂	○～K：	裂開	レツカイ						
	○～S：	裂傷	レツショウ						
褐	○～S：	褐色	カッショク						
	○～T：	褐炭	カッタン						
窃	○～S：	窃取	セツシュ						
	○～T：	窃盜	セツトウ						
率	○～S：	率先	ソッセン						
	○～T：	率直	ソッチョク						
徹	○～S：	徹宵	テツショウ						
	○～T：	徹底	テツテイ		徹頭徹尾	テツトウテツビ			
払	○～S：	払拭	フッショク						
	○～T：	払底	フツテイ						
沸	○～S：	沸泉	フッセン						
	○～T：	沸点	フツテン		沸騰	フットウ			
匹	○～T：	匹敵	ヒツテキ						
	○～H：	匹夫	ヒツブ						
越	○～K：	越境	エッキョウ		越権	エッケン			
	○～T：	越冬	エツトウ						
設	○～K：	設計	セツケイ						
	○～T：	設置	セツチ		設定	セツテイ			
卒	○～K：	卒去	ソツキョ						
	○～T：	卒中	ソツチュウ		卒倒	ソツトウ			
割	○～K：	割拠	カッキョ						
	○～H：	割賦	カッブ		割腹	カッブク			
凸	○～K：	凸起	トッキ						
	○～H：	凸版	トッパン						

逸	○～S：	逸散	イッサン	逸出	イッシュツ	逸走	イッソウ
	○～H：	逸品	イッピン				
喝	○～S：	喝采	カッサイ	喝取	カッシュ		
	○～H：	喝破	カッパ				
潔	○～S：	潔斎	ケッサイ				
	○～H：	潔白	ケッパク	潔癖	ケッベキ		
術	○～K：	術計	ジュッケイ				
	○～S：	術策	ジュッサク				
	○～T：	術中	ジュッチュウ				
舌	○～K：	舌禍	ゼッカ	舌根	ゼッコン		
	○～S：	舌戦	ゼッセン				
	○～T：	舌端	ゼツタン	舌頭	ゼットウ		
没	○～K：	没却	ボッキヤク				
	○～S：	没取	ボッシュウ	没書	ボッショ		
	○～T：	没頭	ボットウ				
抹	○～K：	抹香	マッコウ				
	○～S：	抹殺	マッサツ	抹消	マッシュウ		
	○～T：	抹茶	マツチャ				
劣	○～K：	劣化	レッカ				
	○～S：	劣勢	レッセイ				
	○～T：	劣等	レットウ				
喫	○～K：	喫驚	キッキョウ				
	○～S：	喫茶	キッサ				
	○～H：	喫飯	キッパン				
疾	○～K：	疾患	シッカシ				
	○～S：	疾走	シッソウ				
	○～H：	疾風	シップウ	疾病	シッペイ		
達	○～K：	達観	タツカン	達見	タツケン		
	○～S：	達者	タツシャ	達成	タツセイ		
	○～H：	達筆	タツピツ				
烈	○～K：	烈火	レッカ				
	○～S：	烈士	レッシ	烈震	レッシン		

○～H： 烈風 レップウ

説 ○～K： 説教 セッキョウ      説経 セッキョウ

○～T： 説得 セットク

○～H： 説破 セツパ      説法 セツポウ